

神奈川県立茅ヶ崎養護学校だより



平成 30 年度 No. 1
(通算 61 号)

題字

B 高 2 年 管 めい

平成 30 年 6 月 5 日発行

「今も、とっても充実しています」

校長 鈴木 裕子

5月20日(日曜日)、今年度の同窓会総会が開催されました。「元気に過ごしています」「喜んで通っています」「がんばって働いています」・・・同窓会は卒業生それぞれの近況を伺い、よりいっそう成長した姿を拝見する大変うれしい機会です。



さて、養護学校から巣立っていった方々に会う時、ここ数年大切にしている言葉があります。4年ほど前のNHK朝ドラ「花子とアン」の中の、ブラックバーン校長の卒業式はなむけの言葉です。

「今から何十年後かに、あなた方がこの学校生活を思い出して、あの時代が一番幸せだったと心の底から感じるのなら、わたしはこの学校の教育が失敗だったといわなければなりません。・・・略・・・最上のものは過去にあるのではなく将来にあります」

この言葉を知った時、私は、改めて「特別支援学校」の大きなミッションを強く自覚しました。

卒業生が一人の大人として尊重され、それぞれにその人らしい自立と社会参加を実現できるよう、真の共生社会づくりに役割を果たすこと。そして、卒業生(そしてご家族)に、「学校の時が、一番幸せだった」という言葉を言わせてはいけないこと。

年度当初の職員会議で、私たち教職員全員が共生社会作りの当事者であり、地域との連携・協働に主体的に役割を果たしてほしいと話しました。「校外学習・校外行事」「居住地交流・学校間交流」「就業体験実習」「校外の資源を活用した学習活動」「ボランティアの受け入れ」「教育相談」「公開研修会」「学校開放」「ホームページ・作品展等による発信」・・・多くの実践が、地域の方々と共に考え共に学び共に活動し、支援の必要な方々の味方を増やす、地域を豊かにしていく取り組みです。

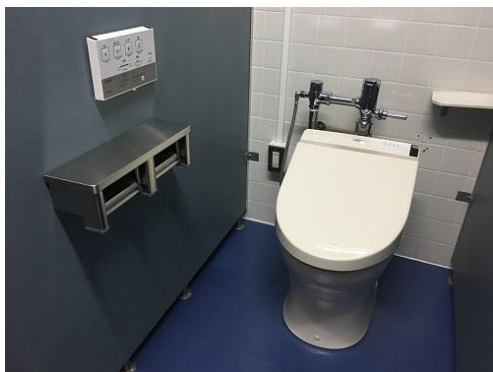
平成11年4月に「地域ふれあい教育」のいとなみを掲げて開校した本校は、地域の皆様に支えられて今年度開校20年目となりました。500余名のこれまでの卒業生、そしてこれからの卒業生に「(学校の時も楽しかったけど)今も、とっても充実しています」と同窓会で報告してもらえよう、開かれた実践を積み重ねて、真の共生社会づくりに一層の役割を果たしていきたいと思います。

トイレ改修報告

昨年度末に1階視聴覚・音楽室前にみんなのトイレを増設しました。

また、肢体中高・知的高のトイレの床張り替え、知的高の和式便器の洋式化、暖房便座・ウォシュレット設置等の改善を行いました。

他のトイレも計画的に改修して参ります。



学校いじめ防止等の取り組み 本校ホームページ 学校目標に記載

いじめ防止対策推進法第2条第1項

この法律において「いじめ」とは、児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

本校で策定した、いじめ防止方針や参考資料をホームページで発信してまいります。いじめを見逃さず、積極的にきめ細かく実態を把握し、迅速かつ適切な指導・支援により早期改善にあたります。ご確認をお願いします。



4月24日（火）



地震津波避難訓練（5月1日（火））

（事前確認：車椅子の児童生徒を2階に避難させる）

神奈川フィルハーモニーオーケストラ ボランティア演奏会